

令和7年度 第3回神戸市就学・教育支援委員会 次第

令和7年12月11日（木）15:00～
神戸市総合教育センター701号室

1. 開会

2. 内容

（1）通級指導教室の設置、拡充

（2）校内支援委員会「判断報告書」の検討

（3）その他

3. 事務連絡

※今後の開催日程

第4回の開催については、決定後、ホームページ上でお知らせします。

<配布資料>

資料1 通級指導教室の設置、拡充

資料2 校内支援委員会 判断報告一覧

資料3 校内支援委員会 「判断報告書」

通級指導教室の設置・拡充

1. 現状

- ・通級による指導の対象となりうる児童生徒の増加に対応するとともに、児童生徒が自校で指導を受けられる体制を整えるため、拠点校通級指導教室（14 か所）に加え、自校通級指導教室を設置・拡充してきた。
- ・現在、77 校（小学校 65 校・中学校 10 校・義務教育学校 2 校）に自校通級指導教室を設置しており、令和 8 年度までに 100 校設置予定。
- ・設置については、以下の 5 点を考慮して選定する。
①通級による指導の対象となりうる児童生徒数、②個別の指導計画の作成状況、③学校における運用体制、④学びの継続性（小学校・中学校の接続）、⑤中学校における特別支援教育の充実

(参考) 自校通級指導教室の設置

	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8 予定
新規設置校	5	10	10	15	18	19	23
合計	5	15	25	40	58	77	100

(参考) 通級指導教室を利用する児童生徒数 ※各年度 5 月 1 日現在

	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
自校通級	64	184	370	592	725	917
拠点校通級	643	655	657	616	618	603
合計	707	839	1, 027	1, 208	1, 343	1, 520

2. 今後の方向性

特別な支援を必要とする児童生徒が増加する中、インクルーシブ教育を推進するため、自校通級指導教室の設置を拡充する。また、指導の質を向上させ、障害特性に応じたきめ細かな支援を実施することで地域校における特別支援教育の充実を図る。

- ・令和 9 年度以降も、自校通級指導教室を設置・拡充し、令和 18 年度までに、通級による指導の対象となりうる児童生徒が、自校で指導を受けることができるよう体制を整備する。
- ・教員の専門性を確保するため、自校通級指導教室において ICT ツールの本格的導入を目指す。
(令和 7 年度は 10 校に試験導入)
- ・また、市立幼稚園や市立高等学校においても、通級による指導を受けやすくなるよう、環境の充実を図る。

(参考) ICT ツールの試験導入による検証結果

・試験導入校 10 校の在籍教員 24 名を対象として、アンケート調査を実施

	内容	継続利用意向
まなびプラン活用 (「個別の指導計画」作成支援)	児童生徒の多角的な実態把握から、具体的な目標設定が可能	95.5%
まなび教材 (教材閲覧ウェブサイト)	児童生徒の実態に合った教材を、約 30,000 種類の中から選んで活用することが可能	95.2%
まなび動画 (研修動画閲覧ウェブサイト)	研修動画(約 150 種類)の視聴が可能であり、校内研修にも活用することが可能	90.5%

質問項目	肯定評価
・児童生徒へのアセスメント結果から自立活動の目標を設定することで、児童生徒が課題意識をもって学習することができる	87.5%
・児童生徒の実態(クラスの実態)に応じた教材を活用することで、興味や関心をもって主体的に学習に取り組むことができる	84.3%
・課題のある児童生徒への関わり方を知ることで、児童生徒が落ち着いて学校生活を送ることができる	84.3%

(利用者の意見) ※一部抜粋

- ・まなびプランの活用により、支援の手掛かりが多く得ることができ、特別支援教育に携わったことがない担当者でも、子供の困りごとに応じた支援が可能となった。
- ・短時間で取り組みやすい教材であり、課題に対して、子供が意欲的に取り組むようになった。
- ・まなび動画には、支援が必要な子供への関わり方について、ヒントが多く掲載されており、今後の支援に活用していきたい。
- ・児童生徒のアセスメント項目が細かく分かれており、入力するのに時間がかかる。
- ・経験のある担当者にとっては、アセスメント結果が自分の見立てとほぼ同じであり、新しさは感じられないが、自分の見立てを確認するために活用している。

(参考)市立高等学校における通級指導教室を利用する生徒数

※各年度3月31日現在(令和7年度:5月1日現在)

R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
16	15	15	16	21	20

(参考)通級指導教室を利用する幼児数 ※各年度5月1日現在

R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
241	225	273	262	232	240